

児童発達支援 事業所における自己評価結果(公表)

公表:平成 30年 3月 30日

事業所名:にこに

区分	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		SI室での活動などダイナミックな動きができるように工夫しています。	今後、スペースの確保を予定しています。その他、共有スペースの利用や外出、社会資源の利用を計画していきます。
	2 職員配置数は適切であるか	○		活動によって兼務職員で増員し対応しています。	
	3 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか		○	床は転倒しても衝撃の少ない素材、隅々まで掃除ができるように床を巻き上げております。また、お手洗日も利用しやすいように対応しております。	柵など子供たちが過ごしやすい環境設定ができるようにしていきます。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○		毎日看護師の指示を受け、館内の掃除消毒で清潔を保っている。	
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか		○	活動の前後、必要情報は共有している。	ケース会議や支援の目的や評価、内容の確認を行い、より専門的な支援ができるようにしていく。また職員全員が参画できる環境づくりに努めます。
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○		保護者からの意見などが聞ける環境づくりをしている。	アンケートを通して保護者からの意見を聞き、職員間で共有していきます。
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○		個別計画の評価や面談の時に報告をしている。	今後も支援の質の向上に努めます。
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○		第三者委員会の方々と意見交換などできる場を設けている。	今後も意見を聞き、質の良い支援ができるよう職員同士でも意見交換する場を設けていきます。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		外部の研修に積極的に参加している。内部の研修会も行っている。	今後も外部の研修や資格取得に関する研修など周知していきます。
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○		半年に1回面談を行ってご家族のニーズや課題などを確認している。担当者会議にも積極的に出席している。	支援者全員と情報共有ができるように工夫していきます。
	11 子どもの適応行動の状況を計るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○		各専門職員がアセスメントを行い評価している。	今後も評価を続け、新しい情報へと更新していきます。
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		支援内容についてはPDCAサイクルを行いながら柔軟に見直している。	支援の内容について、それぞれの持っている潜在的な力が発揮できるようにエンパワーメントアプローチの支援を組み込んでいきます。
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○		個別支援計画に沿って行っている。支援にかかわる職員で評価を行っている。	職員全員が意識しより良い支援が行われるように振り返り、見直しをしています。
	14 活動プログラムの立案をチームで行っているか		○	様々な職種の職員でアイデアを出し合っている。	その日のリーダーだけではなく全職員がアイデアを出せるように工夫します。今後もしっかり目的をもって療育を行っています。
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		同じ目的の療育でも飽きないように工夫している。	今後、関わる様々な職員の意見を聞き、子供たちの成長や発達に沿って話し合いながら内容を決めていきます。
16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ合わせて児童発達支援計画を作成しているか	○		個別活動と集団活動を適宜組み合わせ合わせて行っている。	個々の発達に応じて対応していきます。	

区分	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか		○	その日のリーダーが他の職員と1日の流れなどを申し送りの後打ち合わせます。	関わる全職員が時間を作り打ち合わせをする時間を作っています。
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか		○	気が付いたことや重要事項は報告し共有している。	関わる全職員が時間を作り振り返りをする時間を作っています。
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		記録の時間を確保し、残している。	
	20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○		モニタリングで話し合ったことを多職種のチームで話し合っ見て見直している。	
関係機関や保護者との連携	21 障害児相談支援事業のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしいものが参画しているか	○		その子供と家族、関わる関係機関などとの面接をし情報の共有をしている。	施設責任者か児童発達支援管理責任者が出席している。
	22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○		必要に応じて連携した支援を行っている。	子どもの関するネットワークづくりをしています。
	23 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	○		各医療等の関係機関との連携をとっている。	医療的ケアが必要な子どもに対し、関係機関との連携を図り、より推進していきます。
	24 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	○		医療及び主治医などの関係機関との情報共有を図っている。	
	25 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		併用児が利用している。	今後も情報を共有していきます。
	26 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		進学する子どもへは進路先を含め、情報を共有している。	その子の関わる関係機関で支援内容の理解や情報の共有をしています。
	27 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		研修などで得た知識を共有する場を設けている。	専門機関との連携や研修会の参加を積極的に行っています。
	28 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○	行っていない。	ニーズがあれば検討していきます。
	29 (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか		○	地域の協議会に積極的に参加している。	支援に関わる職員に周知します。
	30 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		おたより帳でのやり取りや、相談などでいつでも気軽に相談できる環境を設けている。	今後、子どもの発達状態や活動内容についての勉強会などをして、ご家族とともに成長を喜べる環境にしていきたいです。
31 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	○		心理職がペアレントトレーニングを行っている。	今後もニーズがあれば続けていきたいです。	

区分	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	32 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		契約時に児童発達支援管理責任者が行っている。	今後も責任者が行っていく。
	33 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○		保護者への説明と同意を心がけている。	全員がガイドラインを理解し、支援内容などについて振り返り見直し確認ができるようにします。
	34 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		随時行っている。	子育ての相談がしやすい環境を心がけている。相談内容に応じ、しっかり背景を理解している各職員が対応している。
	35 父母の会の活動を支援したり、保護者会などを開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			今後保護者同士の交流ができる会を計画している。
	36 子どもや保護者からの苦情について、対応の体勢を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		柔軟な対応を心がけている。	迅速に対応し素早く対処できるように心がけている。
	37 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		毎月のモニタリングや、保護者の見学、診察時、送迎時の日常の会話を通して活動などの状況を伝えています。	今後、会報誌も検討し取り組みます。
	38 個人情報の取扱いに十分注意しているか	○		しっかり注意し、研修などでも取り扱っている。	
	39 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		保護者への伝え方や内容がわかりやすいように工夫している。	今後も確認していきます。
40 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○		見学はいつでもできるようにしている。	今後も地域などにオープンで風通しの良い環境を提供する。	
非常時などの対応	41 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○		各委員会が内部の研修会でマニュアルについてや対応などについて発表している。	各委員会が作ったマニュアルを周知し内部の研修で確認共有していく。
	42 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			法人の避難訓練は年に2回行う。
	43 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○		個別支援計画の面接の際に聞き取っています。	定期受診や相談事業所、訪問看護など情報を共有し、情報の更新ができるように心がけている。
	44 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		医師が指示をし、栄養士が保護者へ聞き取りを行い対応している。	これからも継続します。
	45 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		事業所内にて共有している。	
	46 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		年に1回、法人内で虐待についての研修を実施し参加している。	
	47 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○		緊急やむを得ない身体拘束に関しては契約の時に話し合い、個別支援計画書に明記させていただいている。バギーや座位保持は、時間の記録をし同意書ももらっている。	